

「小さな SDGs ですが・・・」

本庄支部 吉田 豊

80（歳）の山（？）を越えようとしている。孫たちも少年少女から大人の入
り口にいる。しかし、孫たちを取り巻く環境が危機だと報道される。

その環境を回復しようと地球保護、自然環境の保全、温暖化防止や人類の課題
を少しでも皆で解決しようとSDGsも展開されている。

だが、高齢者日常の小生は大したことはしていないと思う。

例えば電気使用量を減らそうとしてもこまめに消すしか思いつかない。
そこで視点を部屋に向けた。妻は洋裁が好きで家族のものや小物を良く作り喜
ばれてもいる。しかし、ミシンは音を出すので2階を洋裁部屋としてきた。
そうすると上下の部屋で照明、空調する。しかも使う機械も全て電気である。

一方、本庄市近辺は暑く寒い内陸気候であり、エアコンの使用頻度が高まる。
そんな中、高齢になり階段の昇り降りのリスクや光熱費の高騰も気になった。
そこで2階の洋裁部屋を1階居間と同居させた。長い食卓を洋裁台にして食卓
は小さくした。

実際生活してみたらミシンも一日中使っているわけではないので音は苦にな
らない。隣の部屋に小生のコーナーがありPCを扱うが問題を感じない。
約2か月間、特に問題はない。

これから暑い本庄は昼頃からエアコンを入れっぱなしなることも多い。

今後、電気量（料）は・・・「ちりも積もれば山」か「ごまめの歯ぎしり」か。
それともSDGs活動になるか？

昔、勉強した5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰（習慣）も
今は最後のSはSDGsなのかも知れない。

以上

